

**遊び・生活・学びの軌跡：小学校でのつながりを見通して
【宗像市保育所児童保育要録・幼稚園幼児指導要録】**

資料6-1

保育所・幼稚園名		園長名	
ふりがな		ふりがな	
氏名		保護者氏名	
生年月日	平成 年 月 日生	就学予定小学校名	
性別	男・女	住所	

ア：特記事項なし

あてはまる所に○を付けること。（裏面に記入要領有り）

イ：得意分野がある場合

【健康】

ウ：助言（伝えること）がある場合

ア	イ	ウ	いろいろな運動遊びに親しみ、喜んで運動する。
ア	イ	ウ	遊びや生活の基礎となる体力や運動能力が身についている。
ア	イ	ウ	健康な生活のリズムが身についている。
ア	イ	ウ	食事は、決められた時間内に食べることができる。
ア	イ	ウ	清潔、衣服の着脱、食事、排泄など生活習慣が身についている。

【人間関係】

ア	イ	ウ	自分の思いを相手に伝え、相手の思いに気づく。
ア	イ	ウ	友達の良さに気づき、一緒に活動することを楽しむ。
ア	イ	ウ	良いことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動する。
ア	イ	ウ	決まりや約束の大切さに気づき、守る。
ア	イ	ウ	共同の遊具や用具を大切にし、みんなで使う。

【環境】

ア	イ	ウ	自然の持つ不思議さ、面白さ、美しさなどに気づく。
ア	イ	ウ	身近な動植物に親しみ、命の大切さに気づいて、いたわったり、大切にしたりする。
ア	イ	ウ	数量や図形などに興味を持っている。
ア	イ	ウ	文字に対する興味を持っている。
ア	イ	ウ	わからないことは、考えたり、尋ねたり、調べたりしようとする。

【言葉】

ア	イ	ウ	先生や友達の話に興味を持ち、親しみを持って聞いたり話したりする。
ア	イ	ウ	要求や経験などを相手にわかるように言葉で表現する。
ア	イ	ウ	先生や友達の話を聞くときは、集中して聞く。
ア	イ	ウ	親しみを持って日常のあいさつをする。
ア	イ	ウ	絵本や物語に親しみ、興味を持って聞く。

【表現】

ア	イ	ウ	生活の中で様々な音、色、形、動きなどに興味を持っている。
ア	イ	ウ	感動したことを先生や友達と伝えあう。
ア	イ	ウ	道具や用具の使い方が身についている。
ア	イ	ウ	音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりすることを楽しむ。
ア	イ	ウ	描いたり、つくったりすることを楽しむ。

【総合】

ア	イ	ウ	いろいろな活動に意欲的に取り組む。
ア	イ	ウ	自分自身や自分のすることに自信と責任を持つ。
ア	イ	ウ	遊びを楽しみながら様々なことに挑戦し、最後までやり遂げようとする。
ア	イ	ウ	したいこと、欲しいものがあったとしても、状況を考えて我慢する。
ア	イ	ウ	自分でできることは自分でする。

対象児の得意なこと、興味のあることがあれば記入すること。

特に、上記でイを記入した項目については、具体的に記入すること。

得意なこと、興味のあること

--

対象児を保育してきた経験から、事前に伝えておいた方が、対象児の成長の助けとなるアドバイスがある場合に記入すること。

特に、上記でウを記入した項目については、必ず記入すること。

対象児を保育する上でのアドバイス項目	指導、対応方法

遊び・生活・学びの軌跡：小学校でのつながりを見通して
【宗像市保育所児童保育要録・幼稚園幼児指導要録】

記入要領

1. ア・イ・ウに○を付ける場合は、以下の要領で記入すること。
 - (1) ア・イ・ウは、対象児の評価を行うためのものではありません。
 - (2) 特記事項がない場合は、アに○を付けること。
 - (3) イに○を付けるのは、対象児の得意分野として、記述して記録として残したい場合とする。
 - (4) ウに○を付けるのは、対象児の保育に携わってきた経験によるアドバイスがある場合とする。
2. 得意なこと、興味があること欄には、イに○を付けた場合、または表記の項目にはないが、対象児の得意分野として記録に残したい場合に記入すること。
3. 対象児を保育する上でのアドバイス欄には、ウに○をつけた場合、または表記の項目にはないが、対象児の保育に携わってきた経験から事前に伝えておいた方が対象児の成長の助けとなる事柄がある場合に記入すること。また、記入にあたっては、その事柄に対する指導、対応方法も記入すること。
4. 学校教育法施行規則第24条第2項及び保育所保育指針第4章1の(3)のエにおいて小学校等の進学先に指導要録の抄本又は写しを送付しなければならないこととなっているので、小学校における児童の指導に活用されることを踏まえわかりやすく記入すること。